

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田 忠宏



アヒルの会 心も体も開放し 白球を打ち延ばす健康寿命

MACは昨年(2020年)6月に創立20周年を迎えますが、アヒルの会も平成15年に産声をあげて以来、現在(2021年3月26日)までに41回のコンペを開いています。これほど順調に続いているのはゴルフ自体が持っているのはゴルフ自体が持っているのはゴルフ自体が持っているのは



る魅力もさることながら、アヒルの会メンバーの情熱があればこそでしょう。私がMACに入会したのは昨年4月で、入会後まだ1年しか経っていません。入会のキッカケは、たまたまアヒルの会のゴルフコンペに参加する機会を得たことです。その時のコンペの雰囲気は非常に良かったことから入会を決めました。今ではゴルフ、パークゴルフと楽しんであります。私のゴルフ歴、思い出みたいなものを少し紹介します。クラブを握ったのが30歳を少し過ぎた頃でしょうか。当時はゴルフブームでゴルフ人口も大いに増えた時代でした。会員権価格はうなぎ上り、若いサラリーマン

ゴルフ場で、東京から福島まで高速道路で片道3時間もかけていったこともありました。今は遠い昔話ですね。さて澄み切った青空の下で白球を打ったら、なんて素晴らしいか!!考えるだけでも身体がうずきます。心も体も思い切り解放してあげれば人生は楽しく、健康寿命も延びることでしょう。

私は今後とも諸先輩方と楽しくプレーしたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

最後に、優勝はぶっちぎりで近藤正志さん。準優勝山本和昭さん、第3位は加藤修三さんでした

渡邊 稔 記

パークゴルフの会

年間優勝の栄冠に輝き

この度、令和2年度年間成績で優勝との連絡を戴き、嬉しい限りです。振り返ってみると、夏場まではなかなかスコアが纏まらずスイングに悩んでいました。何かコツ(アドレ)スの取り方がつかめたよ

うに感じたのが秋口でした。その頃に少し成績が上向いたことはありましたが、その後冬場に入り、また不調の波をかぶっていたので、今回の知らせは大変驚いた次第です。

新年度はハンディキャップも厳しくなるので、一層精進していきたいと思えます。これからも、皆さんと一緒にプレーと会話を楽しみ、健康寿命を延ばせるよう、一緒に球転がしをさせてください。

山本 和昭 記

一年間を振り返る

前述に優勝者の山本さんからコメントがあったように、見事1年間、好成績を積み重ねられ、栄冠に輝きました。おめでとうございます

なかまの 声 五輪の火花を咲かせ 再び密なる自由を

花の生涯を感染症コロナに絶たれた全国の死者8292人(寄稿時点)のご冥福をお祈りいたします。

また事態の真相を甘く見て、開店し感染者が増えていく現状に警鐘を鳴らします。

みんな!!国民による国民の命を守り合う決意を新たにする時だ。無感染者と回復した人を含む1億2500万人の人々よ! NO 密の足並み揃えコロナ菌を根絶させよう。「体内にコロナ入れな

す。コロナ禍の1年でしたが、パークゴルフの会は屋外での活動のため、お陰様で17回の開催・活動ができました。

山本さんの優勝や、8回のホールインワン・スコア新記録更新がありました。特筆されるのはコロナ禍での、市川さんの皆勤賞かなと!!体調管理とパークゴルフに取り組む情熱は見習いたいものです。

新年度も健康寿命の維持を目指し頑張りましょう。パークゴルフの会 世話人

い!この忍耐と連携で勝利し、再び密なる自由を取り戻し、その勢いで東京五輪を大成させよう。各国の選手や役員達へ「No 密」バッチをお土産にすれば、世界中のコロナ菌が消滅すると確信する。一首「夢も気合も健やかな仲間たちコロナ倒そう密避け抜けて」。一句「夏に咲けみんな笑顔の五輪花」

伊藤 孔三 記

次号の発行は

5月20日です